

テクノロジーの粋を集めて実現



3次元レーザースキャナを用いた 橋梁一般図作成

国土交通省 NETIS
登録番号:HR-160002-A

定期点検の記録は
橋梁台帳の整備から

- 旧JIS規格のPC橋の一般図作成が可能
- スキャナで測量した情報から半自動で一般図が作成

明日へ繋ぐ、未来に繋ぐ

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

3Dスキャナで測量した点群データから 一般図を作成

古くて図面のない旧JIS規格のPC橋について、
3Dスキャナを用いて一般図を作成できます。



背景

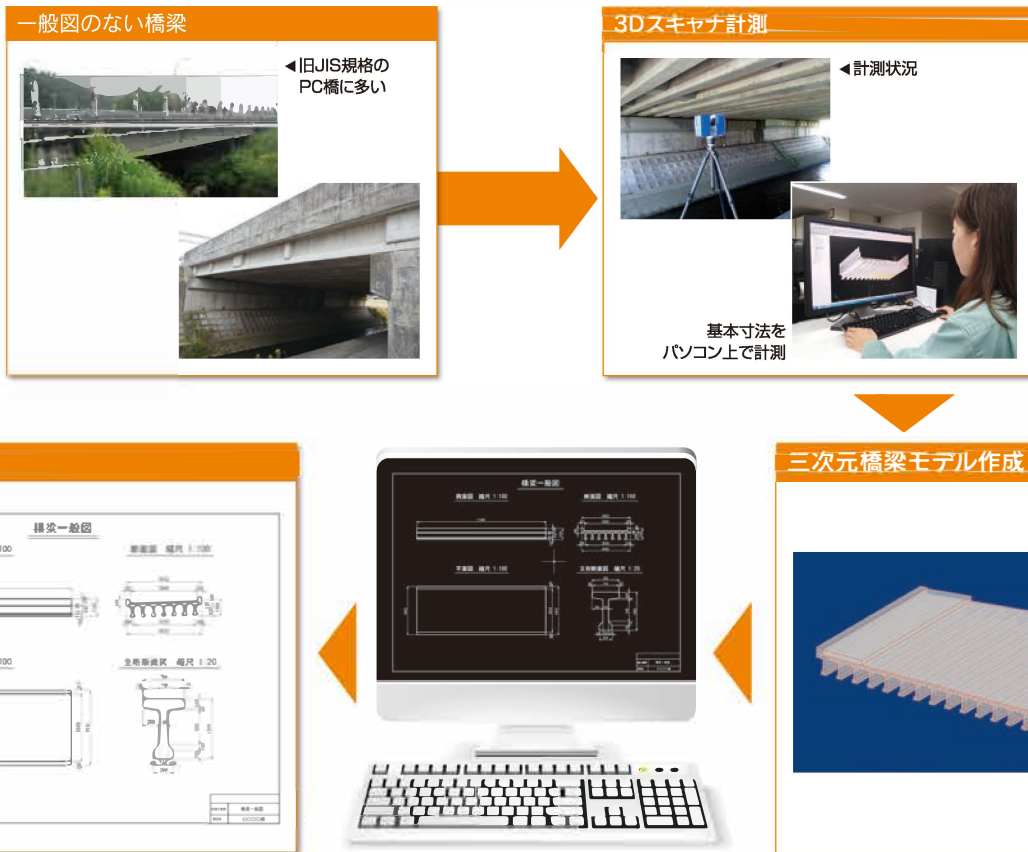
- ・橋梁点検は、5年に一度の近接目視点検を基本とする。
- ・道路法上の道路の橋(スパン2m以上、70万橋)を対象とする。
- ・診断の結果、措置を講じた場合の**記録**を残す。

▲道路法施行規則(省令)の改正 H26.3.31公布 7.1施行より

記録を残すとは

記録には、橋梁に関する情報が必要です。
そのなかには、**全体図や一般図掲載が必要な場合があります。**

3Dスキャナによる一般図作成



旧JIS規格のPC橋で一般図のない橋梁については、
是非、この技術をご活用ください。より安心で、安全な地域づくりのために。

(問合せ先)

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

名古屋市中区錦1-8-11 DPスクエア錦9F 〒460-0003
TEL:052-212-4551(代表)052-212-4597(営業部直通)

中日本エンジ名古屋 検索 FAX:052-203-5106

http://www.c-nexco-hen.jp/ mail:info.yy@c-nexco-hen.jp

